

またも、低額回答！断固抗議する！

経営課題を前面にした社員への更なる犠牲はやめろ！

「1.67箇月分、12月9日支払い」

社員と家族の切実な声に経営陣は耳を傾けるべきだ！

11月19日、2021年度「年末手当」の回答を貨物会社から受けた。

冒頭、本部は、長時間待機を強いられ「回答の取扱い」「各組合への回答」「常識的な時間」などについて強く抗議し、これに対し会社は「常識的な時間で判断したいとの、この間の経緯を踏まえ指摘は率直に受け止めたい」と謝罪した。

席上本部は、「11期連続経常黒字に加えて今年度も経常黒字を目指す計画を変えずに設備投資は計画通り行うことなど、これまでの交渉経緯を踏まえれば極めて不満が残る回答である」とし、

① 中期経営計画・経営自立計画の目標を前面に経営課題を社員に転嫁したものでしかなく、業績を還元する姿勢が見られない。

② 2021年度中間決算は前年度より改善している下で通期では黒字を確保していく計画である。

③ コロナ禍の下、厳しい職場実態の中で奮闘し、生活改善を願う社員と家族の期待を裏切るものでしかない。

④ 厳しい経営状況下においても計画している設備投資は確実に実施するとしており、社員に対しても当然投資を行うべきである。

⑤ 健全経営を阻害する「構造矛盾」を先送りし、その場しのぎに社員に犠牲を転嫁する経営陣の姿勢と態度は許されない。と抗議を行った。

これに対し、会社は、「貴組合の指摘は受け止めるが、会社として最終判断した中身であり、最終回答である」との見解に終始した。

最後に本部は、本日の年末手当の低額回答は、社員と家族の生活実態を全く無視した一方的な姿勢であり、到底認められるものではなく「極めて不満である」と重ねて抗議し、取り扱いについては「持ち帰り検討」とした。

国労要求3.0箇月を支払える 経営体力は着実に付いている！ 設備投資は否定しないが社員への投資も行うべきだ！



社員の生活は一向に改善されず！
社員犠牲の経営に終止符を！

「低額回答」への抗議と要請行動
※ 11月26日(金)まで